

令和2年10月臨時部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和2年10月14日（水） 午前8時35分から午前9時6分まで
- ◇会 場 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、長野市保健所長、子ども未来部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

1 その他

（1）ウィズコロナにおける「長野方式」の実践について（企画政策部）

標記事項について、市長公室長から説明を行った。（資料1参照）

○質疑

〔子ども未来部長〕所管施設に周知したいので、効果的な換気の方法を教えてください。

〔保健所長〕換気は、人のいないところへウイルス等を排出することが目的なので、風の流れに注意することが必要。対角線上の窓を開けることで風の通りがよくなるが、施設によっては開け方により室内にウイルス等が溜まることもあり得る。どこを開けば人のいないところへ風が流れていくかを考えてほしい。

〔市長〕これからの時季は気温が下がるので、換気により室内の温度が下がってしまうがどうすべきか。

〔保健所長〕夏の冷房時にも換気は行っていたので、寒くても実施すべきである。

〔市長〕広い部屋で間隔を空けて会食をすると、会話の音が自然と大きくなり逆に危険だと思う。距離は近づけても、口元をハンカチなどで覆って飛沫を飛ばさないようにした方が良いと考えるが。

〔保健所長〕そのとおりだと思うが、飲酒するとコントロールできない場合もあるので、冷静に判断し声掛けをする人を置くことも必要ではないか。自覚だけでは難しい。

〔市長〕これから実施するイベントなどでは、施設に出入りする時の手指消毒も大事だと思う。

〔保健所長〕手は何を触っているか分からないので、入るときだけでなく出るときも行うなど、こまめに消毒することが大事である。感染防止にはマスクの着用だけでなく、手指の消毒が必要だということを徹底してほしい。

〔副市長〕市が手本になって、まずはやってみるしかない。

〔市長〕市職員が、長野方式を率先して実践してもらうとともに、周囲の人や関係者にも広めてほしい。

〔地域・市民生活部長〕資料の中に、イベント時の参加者の把握に関する言及がない。小さなイベントなら、ある程度参加者を把握できるが、大きなものは把握が困難であり、地区ではその辺りで悩んでいる部分がある。

〔副市長〕各部署においては、関係団体などへきちんと通知してほしい。また、地区には経済活動という観点では伝わらないが、何もしないと地域のつながりが希薄になるおそれがあるという観点で説明すれば、理解してもらえるのではないかと。理解してもらえなければ始まらないので、相手先に応じた内容で通知してもらいたい。

また、長野県の警戒レベルが6段階に変更されたことを知らずに、以前のレベルを基に対応している企業がある。そういった企業は、ちょっとした状況の変化で、すぐに活動自粛ということになってしまいかねない。レベルが変更されたということを、きちんと周知することが必要だと思う。

〔保健所長〕確かに、県が途中からレベルを変更したが、周知がうまくできていない。医療機関でも、同様に誤解しているところもあるので、警戒レベルを、もう少し詳しく周知する必要があると思う。

（2）新型コロナウイルス感染症の予防について（長野市保健所）

標記事項について、保健所長から説明を行った。（資料2参照）

○質疑なし

以上